

## 和泊町立中学校のあり方座談会 会議録（概要）

- 1 日 時 令和7年11月6日（木曜日）午後7時～午後8時
- 2 会 場 内城小学校体育館
- 3 出席者
  - (1) 内城小学校区住民・内城小学校保護者・内城校区外住民 23名
  - (2) 和泊町教育委員会事務局：永井局長，和田次長，上別府次長  
安田係長，村吉主査

### 4 会議の内容

- (1) 開会あいさつ（永井局長）
- (2) 和泊町立中学校のあり方について資料説明
- (3) 質疑応答
- (4) 終了

### 5 議事録（発言者，発言内容等を記載）

#### 1. 開会あいさつ

（和泊町教育委員会 永井事務局長）

※省略

#### 2. 会議の進め方と情報公開について

（事務局）

※省略

#### 3. 現状と課題の説明（概要）

（事務局）

説明は，配布した座談会資料に基づき行われた。

#### 4. 質疑応答及び意見交換

（参加者）

和泊町は，住宅に入る人もいなくなって人口も少なくなって住みにくい場所になってきている。昔，過剰な学校施設を建てたために，現在，改修費用がかかっている。それは，昔の町政がやったので仕方がないこと。ただ，単純に統廃合すると，地域に人がいなくなる。和泊ばかりに人が行ってしまう。先日，鹿児島本土の県立高校に子どもが進学するので，家族で転出するという話を聞いた。それと一緒に，統廃合するのはいいが，廃校になった地域から人が減って住みにくい地域になると思う。役場の説明では，学校が廃校になって，衰退した地域の話はひとつもない。町は，計画性のない事業を10年20年やってきている。つい先日

まで、総合交流施設の建設について話し合われていたと思ったら、今度は、中学校の統廃合の話が上がってくるというのは、和泊町の財政が問題ではなくて基本方針自体が間違っていると思う。今回、教育委員会が作ってきた資料は、学校の統廃合をやしましょうという資料になっている。地域の意見を聞いて、誰も何も言わなければ、できれば統合したいと考えているはず。昔の教員に聞いたところ、複式学級も良い面があると聞いたことがある。徳之島は、分校もある。

(事務局)

教育委員会としては、子どもたちにとって最善の学びの場というのはどういうところなのかというのを前提に話をさせていただいている。地域の皆様が、この学校はやはり地域のシンボルであるから、人数が10人になっても残してほしいという声があれば尊重したいと思えますし、他市町村のように児童生徒数が減少してきたので学校をひとつにしてほしいという声もいろいろある。今回は中学校ですけれども、今後、学校のあり方についてどうしていきたいかというご意見をいただきたく座談会を開催している。資料の作り方が、統廃合に向けてという印象を与えているのであれば、我々もお詫びをしないといけないが、教育委員会としては、統廃合ありきで進めている訳ではない。皆様から幅広い意見をお伺いして、協議をしていきたいという状況であるため、ご理解をいただきたい。

(参加者)

統廃合をするなら廃校になった学校を何に使うかを決めてから進めないといけないと思う。母校は、たとえ児童生徒が1人になっても残してほしい。0人になったらしょうがないと思う。

(事務局)

確におっしゃる通り。統廃合後の施設の活用方法も考えていかないといけない。統廃合の方向性が決まってから、翌年に学校の統合はあり得ない。準備期間も含めて大体3年ぐらいかかるといわれている。統廃合のスケジュールが決定すれば、廃校を活用した事業や老人ホーム等が入ったりすることも考えられる。そこが決まらない中では、参入企業も事業計画が立てられないというのもある。我々も他市町村の事例を参考にしながら検討していきたい。

(事務局長)

補足ですが、A町を見たときにですが、廃校を町が改修しているところもあれば、企業がそのまま使っているところもある。A町には昔利用していた学校施設が9校あるが、場所によってはそのまま手を付けていないところもある。鹿児島本土の方では民間に譲渡や売却をするというような事例も聞いている。離島なので大手企業を誘致することはなかなか難しい部分があると思っているが、廃校後の校舎の利活用について検討していきたいと思っている。

(参加者)

朝のテレビでB村の児童・生徒の受入について全国ニュースで放送れていた。人口が減り、学校の閉校になるというのであれば、全国から離島移住希望の親子を募集するのはどうか。そうすれば、雇用も確保できて家賃も安い人が集まる。テレビのニュースでしていたので、すごく反響があるのではないかと思う。人口が減ることばかり心配しない方が良い。離島留学を受入れる計画はないか。

(事務局長)

離島留学につきましては、これまでもいろいろな質問がありましたが、慎重に検討しており、奄美群島12市町村の中で、和泊町だけが離島留学制度を導入していない。その理由としては、様々な理由で学校に行けなくなった方が離島留学制度を利用して移住しているということは、他の自治体にも確認している。少数ではあるが、大学進学をして帰ってくる方もいるとのこと。母親と子どもが離島に移住し、父親が本土に残るというスタイルが多いと伺っている。C町に確認したところ、地域の方々や集落の区長がコーディネーター的な役割を担わないといけない。そういった地域の協力と連携体制がなければ受入は難しいところ。

(参加者)

私は2回目の参加になりますが、とてもうれしかったのは、担当の人たちが膨大な情報を集めて、調査して資料を作っていただいて、すごいなと思って感心した。いろいろな方から意見を収集してアンケートを取って、将来的に子どもたちにとって最善の教育の場を考えていくということは理解した。教育委員会は、統廃合ありきで進めていないということが分かった。でも、本当に子どもが減って、1桁台になったらどうしようもないので統廃合も仕方ないと思う。意見として、中学校の統廃合ではなくて、校区にひとつ小中学校を統合する方が良いと思う。

(参加者)

内城小学校の来年度の入学予定者は2人となっている。本当に昔に比べると、人数が減ってきていて厳しい状況になってきていると思う。過去の町政を批判してもしょうがない。現状の分析と現状の問題点が挙げられていて、分かりやすい資料を作っていただいている。この資料を使って各地域で座談会をして、来年度にあり方検討会を実施するという事は理解した。内城小学校の1クラスあたりの人数も3名くらいで推移することを考えると、将来的には学校の統合を検討していく方が良いと思う。来年のあり方検討会でスクールバスの件も含めてしっかり議論するべきだと思う。

(参加者)

私は、昨年島に帰ってきて自分の母校の内城小学校に娘が通ってくれて嬉しく思っている。保護者としては、安全な学校施設に通わせたいので改修工事は必要になってくると思う。町が改修費をもたないと考えているのが残念に思っている。内城こども園と大城こども園の合併アンケートを見ると、統廃合する園の状況が保護者も分からないという声があった。しかし、園の合併について保護者の反対は少ないのではないかと感じた。中学校についても保護者は、お互いの学校の情報や状況がわからないので判断しづらいと思う。自分としても、たくさんの人の触れ合いの中で育ててほしいと思っている。町も人口が増えるような施策も頑張してほしいと思う。

(事務局)

本町は、平成 31 年度に学校の長寿命化計画を立てており、来年、改定予定になっている。今のまま学校を残すか、統廃合を検討するか判断しないといけない時期になってきている。残すのであれば改修工事の予算を他の事業から振り分けるなど調整が入ってくる。地域の皆様には、学校を残すか、統合するかの選択肢があるという状況。しかしながら、もう財政難でどうにもならなくなった場合には統廃合させてくださいというふうにはかならない場合も考えられる。

(参加者)

学校を残すか、統廃合するかについては、アンケートで決まるってということですよね？財政状況が悪くなった場合は、全て役場で学校をどうするか決定するということか？

(事務局)

財政状況や教育費以外の他の事業がありますので、議会で諮って最終決定するという流れになる。

(参加者)

財政状況を悪くしたのはだれの責任かはわからないけども、民間の意見は聞かないということか？

(事務局)

地域の皆様のご意見を幅広く伺ったうえで、教育委員会としても協議をしていく。

(参加者)

国頭小学校区から参加していますが、2・3点質問したい。城ヶ丘中学校の事例で、理科専門の先生がいなくて社会の先生が授業をしていたとある。これは実際にあった事例なのか？

(城ヶ丘中学校長)

理科の先生がいなくて、社会科の免許を持った教員が授業をしたというのは、2年前の令和5年度に実際にあった。まず、中学校は9教科というのは皆さんご存知ですよ。城ヶ丘中学校は、1年、2年、3年が1クラスずつの、通常学級が3クラス。特別支援学級というのが、2クラスあって、全部で5クラスです。県の決まりで5クラスの中学校は授業ができる先生は、教頭も含めて、8人しか配置しませんという決まりがある。9教科を教えなければいけない中学校ですが、うちは5クラスしかないのに、教頭先生も合わせて、8人しか先生は配置されません。ということは、教頭先生が授業をする場合もあるが、教頭先生は学校で多分一番忙しい。私も教頭しながら、国語、社会、理科、数学、美術、技術を担当して大変だった。理科の先生が配置される予定だったが困っているという話だった。社会科の教員免許を持った臨時教員の方が見つかった。その方が、人柄も良くて、責任が強く、一生懸命、理科の勉強をされて子どもたちに教えて、その方の人柄で授業をしてくださった。翌年に理科の免許を持った教員が来てくださり事なきを得た。だから中学校、一番の小規模校の困りごとは、どうしても学校配置の教員数が限られてしまう。都市部に専門教員が配置されて、離島には配置しづらい状況になっている。

(参加者)

中学校のあり方ですけど、城ヶ丘中学校の子ども達は学力が高いというイメージを持っている。今現在の学力はどうか？

(城ヶ丘中学校長)

非常に私もびっくりしているところで、地元の教育に関わる環境や地元力みたいなもの、素地があるのかなと感じている。内城小学校と大城小学校の先生方と学力向上について、小中連携研修を、1学期に1回程度実施している。小学校の先生方、保護者の方の協力があるため、中学校に入ってから基礎学力、専門外の教科を持つ先生が今いらっしゃいますが、そういう状況でも、授業についてきて一定の学力は維持されていると思う。

(参加者)

城ヶ丘中学校の学力が高い理由は分かった。スポーツに関して、部活に関して、どのような流れになっていくのか。まず学力の高さ等がメインですけど、そういったものも含めて、あり方検討会の設置になるのか？

(事務局長)

非常に判断が難しいところ。判断基準をアンケートとして、統廃合したくないとか、そういう意見が多いので検討はしないとか、賛成が多いからするとか。今の段階では判断できない。どれだけ地域の意見を集約できるのか、議会からも時間をかけてしてほしいという話もある。1回学校を統廃合すると元に戻らない。幅広く地域の声を集めて慎重に進めていかな

いといけない。ただ、どこかで、10年先、20年先を見て、ひとつの施策をしないといけない。地域の同意を得られれば、先に手を打つ必要もある。資料を作った時は、来年度アンケートや検討会を実施するスケジュールを作成した。先日、他市町村を回った時に、やはり地域の声的大事と感じた。来年度、アンケート調査の実施と分析を行いたい。

(参加者)

そのアンケート調査は、城ヶ丘中学校区でする予定か？

(事務局長)

当初は、そのような方向性で考えていたが、町内全域でする必要があると考えている。その際は、各団体にも協力を呼び掛けたい。

(参加者)

いろんな観点から見ると、例えば地域に学校がないと困るっていう方もいる。しかし、そういうふうに言っているOBの方は、年に何回学校に行っているのか。あと、子どもたちの気持ちとか、野球とかもできないような人数規模で、いろんな経験ができないような状態。今後、財政がショートして学校の補修費とかが厳しいから、統廃合しないとイケないような状態になるかもしれない。城ヶ丘中学校も私が移住してきて5年、6年目になりますけど、防火水槽と思っていたらプールだった。最初はおそらく数百万で直せていたものを放置していたので、今では新築するくらいのコストがかかるようになっていく。県議会との意見交換会で、私が内城小学校のベランダについて、教室の張り紙にベランダに出るなと書いてある。こういうことが起きていますという話をしたら、その2年後に突然ベランダを取り払って、去年、ペンキを塗り出してお金が本当になくてやらなかったのかどうか分からないけど、予防保全っていうことをやっていけばそんなにお金もかけずに済んだ。財政的なもの考えて、子どもの普段の生活を突然変えるのも良くないことだと思う。地域の人たちが学校を残せと言うのもそうだし、財政的なこともそうだけど、やっぱり子どもの気持ちとかいろんなことを考えないとイケない。先ほどからの説明を聞いていると、じゃあうちの子も中学校卒業したら、ここにいなくてもいいという人もいると思う。そのようにならないような話し合いをして、子ども園から高校までひとつにしていく方が良くないとこれまでも言ってきた。教育委員会には、新しい発想がない。どこかで見たようなことだけが資料に載っている。役場の庁舎もリース契約をして実質公債比率が上がっていないというまやかashiで運営している。そういう状況なのに、学校施設の補修をしなければいけないと言われても、子どものために教育委員会として考えて行動していますか。誰のために、学校再編しなければいけないのか。城ヶ丘中学校というタイトルが資料についている時点でおかしい。学校統廃合で校名や校歌が変わると言われても何も思わない。子どものためにちゃんと考えてほしい。

(事務局長)

教育委員会として、平成 28 年度にこのような学校適正規模検討会を開いているが、その当時は、判断ができなかった。いただいたアイデアも非常に面白いと思っているが、地域の声をしっかり聞かないといけない。我々も他市町村の情報を収集しながら資料を作成しており、多くの皆様に現状を開示をして、理解をいただきながら座談会を開催している。今後も多くの方々の参加をお願いしたい。

(参加者)

総合交流施設のアンケート調査を外部企業に委託して、数か月後に建設推進の意見しか掲載しているアンケート結果が出てきた。あのようなやり方をやるのであれば、区長会に協力を要請し、回収してもらって教育委員会で集計すればいい。

(事務局長)

教育委員会も業務が多岐にわたるため検討したい。区長に依頼する件については、区長の業務量も多いことから、各世帯に郵送で対応したいと考えている。アンケートの回答率が上がるような方策を考えていきたい。

(参加者)

人口減少などマイナスなことばかり言っている。なぜ、教育委員会は、人口減少を止めるプラスの発想ができないのか？

(事務局長)

教育委員会だけの話ではなく、これは町全体の話だと考えている。関係機関と連携をしながら取り組んでいきたい。

(参加者)

町内こども園も老朽化が進んでいるが、こども園を新築する計画はあるのか？

(事務局長)

そういう情報は今のところ分からない状況。

(参加者)

知名町のように大きな保育園を建築する計画はないか？

(事務局長)

現在のところ、新しいこども園の建築があるということは聞いていない。今ある施設を有効活用していくという話は聞いている。教育委員会としても、必要性はあると感じているが、

財政的に厳しいので、総合交流施設を建設する時期ではないと考えている。こども園の統合についても、アンケート調査の結果、保護者間でも情報共有していくことが必要ではないかという意見が出ていた。

(参加者)

こども園も動かしながら使っていくっていう方法なのですね。

(事務局長)

これは、教育委員会が担当ではないので、明確な回答はできないが、安全確保はしないといけない。やはり爆裂をしている状況であれば、十分な安全確保と補修は、こども未来課の方でしないといけないと思う。

(参加者)

私としては、町内のこども園、小学校、中学校、教育機関全部がこれを機に、一緒になっても良いというふうに思う。そうなった場合に、廃校になった小学校の使い方も考えていかないといけない。大城小学校のPTA活動も保護者の人数が少なくなってすごく大変。学校の草刈だけでも、保護者の負担になってきている。統廃合も考えてほしい。

## 6 閉会

参加者に対し、アンケートの回答は今後の方向性を決める大事なデータになるので、回答について重ねて強く要請し、閉会した。